

~やっぱり、サラリーマンより漁師でしょう~
受川 哲也さん（四国中央市）

寒川漁業協同組合 青年漁業協議会長 1979年生まれ



☆経営概況☆

小型機船底びき網 使用漁船（4.9トン）主な漁獲物（スズキ、イカ、マダイなど）

☆ここがポイント☆

■自分の力を試してみたい。父親のもとで修行！

高校卒業後、地元企業に就職したものの、同じ仕事の繰り返して、社員は会社の歯車の一つでしかないのかと思うようになり、25才で自分の力を信じて転職し、父親の底びき網で3年間修業して独立しました。この3年間は親子と言えど師匠と弟子の関係となり、漁業の厳しさや苦しさを教え込まれ、まさに、**教育と言うよりは修行の連続**でした。

■努力の蓄積あるのみ、その先に収入がある！

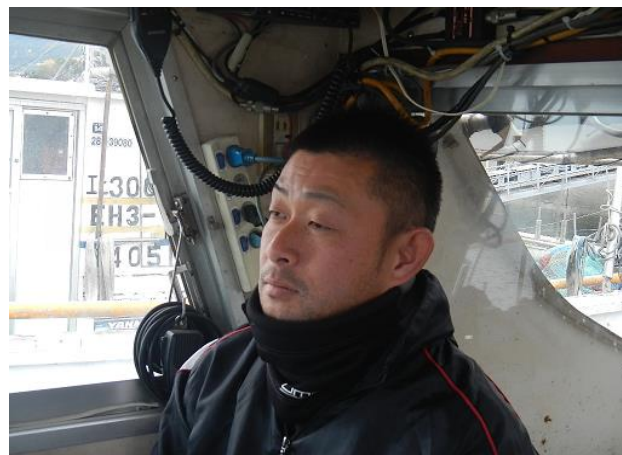
偉そうなことを言うのも恥ずかしいのですが、父親から独立した時の話（サラリーマン時代には絶対に感じなかった）をさせていただきます。

分かりやすい例で言うと、水泳の練習では、どんなに頑張っても練習の初日から5m泳ぐ、翌日は10m泳ぐことが絶対にできないのと同じで、日々の努力が蓄積されて、ある日、突然10m泳げるようになるもので、独立して底びき網の漁師になった初期の頃は、「頑張っているのに売上げが少ない。」とグチを言う毎日でした。しかし、その後は**努力の蓄積が実ったのか、潮流・潮汐・風・天気を読めるようになり、見ることができない海底も、漁網ロープから伝わってくる微妙な振動で起伏や底質を感じる**ことができた時から、自分なりに納得できる収入が続くようになり、今では、一家4人が無事に暮らせる収入を安定的に得られるようになりました。

書けば難しそうな文章になりましたが、**努力の蓄積は究極に言うと『コツ』**ですね。ただ、鉄棒の逆上がりのコツ（腕を縮める・鉄棒にヘソをぶつける）と同じで、一つの作業に2つ以上のコツがある作業が多いのが漁業の難点です。でも、発見時の感動は特大ですよ。

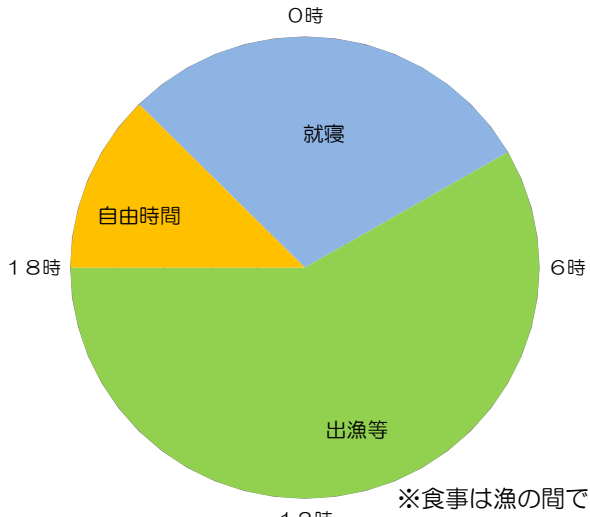


日の出の出航準備



さあ、出航だ。沖に行けば眠気なんて吹っ飛ば

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

漁師は見た目より忙しい！

毎週、土曜日が定休日なので家族サービスや自分の趣味に使いたいところですが、漁船や網の補修などに追われ、案外、自由時間がないものですよ。

ただ、自然を相手にする漁業だから、天候の悪化次第で、即、ゴールデンウィークに突入します。でも、収入が全くないので、ある意味うれしくない（笑）。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	出漁				休日	出漁
【普通期】	出漁	休日	出漁		休日	出漁



今日の獲物はカワハギだ。



大漁でも安心。ベルトコンベアの出番だ。

☆これからの夢や目指すもの☆

大きな夢などはありませんが、家族を無事に養うことに尽きます。帰港時に岸壁で帰りを待つ子供の姿を見た時に、大漁以上の喜びと言葉にできない安心感を感じます。

☆メッセージ☆

漁師になりたいと思ったら、まずは、寒川漁業協同組合（0896-23-3718）へ連絡してください。組合長や職員が優しく受け答えしてくれます。

最後に、漁師の職業イメージとして「きつい」「厳しい」「儲からない」がありますが、「きつい」「厳しい」に関しては本当です。だいたい、楽しく収入がある職業なんてありません。しかし、「儲からない」だけはウソと言いたい。先に書きましたとおり、努力の蓄積があれば、儲けは後からついてきます。実践者の自分が言うのだから間違いありません。